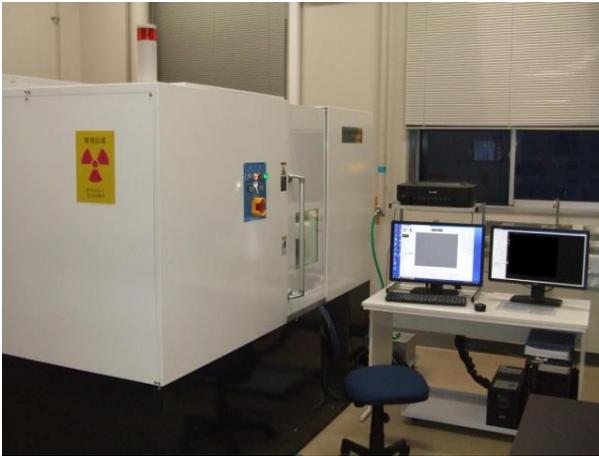


# マイクロフォーカスX線CT装置



## 機種名

コムキャンテクノ(株)  
ScanXmate-D225RSS270

2013年1月導入

## 特徴

- アルミダイカスト等の内部構造を非破壊で画像化
- X線透過能力  
アルミニウム: 約100mm  
(材質により異なります)
- 取得したボクセルデータの解析が可能(欠陥解析など)  
解析ソフト: ポリウムグラフィックス(株) VGStudio MAX2.2

## 【サンプルについて】

- ・搭載可能サンプルサイズ  
直径300mm×高さ300mm  
(観察可能範囲と異なります)  
重さ 10kg以下

## 【主な仕様】

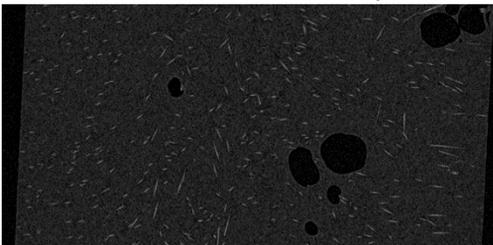
- ・X線管電圧 20~225kV
- ・X線管電流 最大600μA  
(最大出力50W内で調整可能)
- ・X線検出器 270万画素デジタルフラットパネル  
有効入力視野 235mm(H)×186mm(W)

## 【データ出力】

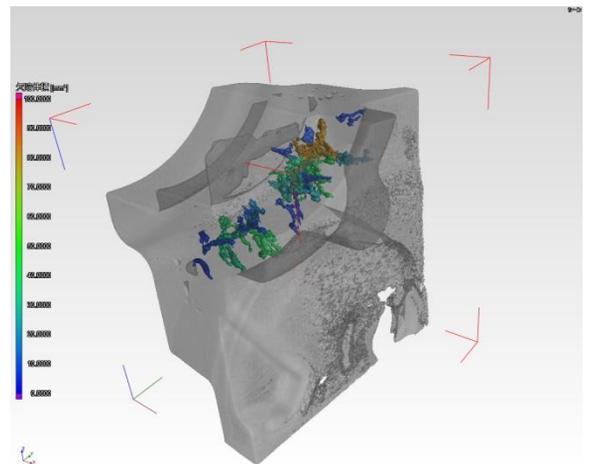
記録メディア USB, CDR, DVDR

保存形式 Jpeg, TIFF, Dicom等  
専用形式等

炭素繊維含有樹脂の断層像  
(20mm角、繊維径約10μm)



アルミニウム鋳物の欠陥解析例



## 料金等

機器使用: 3,100円/1時間  
 操作法説明: 3,900円(1時間)  
 依頼試験: X線CT検査10,600円/1件

研究員による支援

3,900円 / 時

観察条件等

X線出力等

解析の支援

欠陥解析、設計値/実測値比較等